

【総合的な学習の時間】 第16回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 発表原稿とスライドについて

2. 本時の概要

本時は、「探究Day(小学生・中学生の部)」に向けて、ポスターセッション形式(発表6分・質疑6分)で使用する発表原稿およびスライドの作成を開始・進行する回である。

前半では、日常の気づきを記録する「LIFEログ」をスクールタクトへ入力したのち、発表原稿とスライドの基本構成(タイトル、研究背景、目的・リサーチクエスチョン、本論、結論・今後の展望、引用・参考文献)について教員から説明を行う。スライド作成においては、文字の羅列を避け要点をまとめること、色や文字サイズで強調すること、図表を活用することなどの視覚的ポイントを提示する。

後半にかけては、各グループに分かれて「発表原稿シート」および「発表スライドテンプレ」を用いた共同編集ワークを行う。次回までの完成・提出に向け、グループ内での役割分担や記述内容のブラッシュアップを促すことをねらいとする。

3. 本時の目標

- LIFEログを通じた継続的な自己省察(メタ認知能力):

日々の気づきを適切に記録し、これまでの探究活動や今後の計画に活かそうとする態度を養う。

- 論理的な発表構成の理解と原稿・スライドの作成(成果を表現する力・論理的思考力):

指定された構成(6つのパート)に沿って、初めて聞く人にも伝わるような要点をまとめた原稿と、視覚的に分かりやすいスライドを作成し始めることができる。

- チーム内での協働と計画的なタスク管理(協働する力・自分と向き合う力):

グループ内で密にコミュニケーションを取り、締め切りを意識して主体的に作業を進めることができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:

- 授業スライド 第16回

- 使用教材(副教材):

- 岡本尚也(2019)『課題研究メソッド Start Book』新興出版社啓林館

- 生徒用配布:

- 発表原稿シート(Googleドキュメント)
- 発表スライドテンプレ(Googleスライド)

- 参考文献:

- 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館

- 鳥取県中部地域公共交通協議会(2018). 鳥取県中部地域公共交通網形成計画p18.
<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1116048/tyubumoukeiseikeikaku.pdf>
 f. (参照2026-7-29)

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	① 本時の内容説明 スライドに基づき、本時の全体の流れ(1)LIFEログ、(2)発表原稿とスライドについて、(3)今後の予定)を確認する。	本格的な発表準備(原稿・スライド作成)を意識させる。
1分	② 「LIFEログ」の説明 ・スクールタクトの「総合的な学習/探究」から課題を開くよう指示する。 ・入力方法や注意点(タイトルを入力する、文字サイズは自動調整されるため変更しないなど)を確認する。	・文章の量として、まずは4～5行書くことを目標に設定する。 ・記述量が多く枠が足りない生徒には、「…」からページを複製して追加できることを伝える。
8分	③ 「LIFEログ」ワーク ・各自スクールタクトに日々の気づきを入力する。	入力状況を巡視しながら、手が止まっている生徒への声かけを行う。
5分	④ 「発表原稿とスライドについて」および「今後の予定」説明 ・探究Dayが体育館でのポスターセッション形式(発表6分、質疑6分)であることを確認する。 ・スライド構成(A3用紙8枚)と、それぞれの要点(要約、色・サイズの強調、図表化)を説明する。	・スライドの例を見せながら、「ただで文章を書かず、伝えたい要点だけを目立たせる」重要性を視覚的に理解させる。 ・原稿作成においては、「初めて聞く人でもわかる説明」を意識するよう指導する。 ・本日中にスライドまで完成させたチームは、印刷後の貼り合わせ作業に進むことができる旨を伝える。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	・配信された「発表原稿シート」の構成(タイトル～締めくくりまでの6パート)を解説する。 ・次回までの完成締め切りと、その後の印刷・練習スケジュールを提示する。	
35分	⑤ 発表原稿とスライド作成(ワーク前半) ・グループ内で共有フォルダー内の「発表原稿シート」と「発表スライドテンプレ」を開き、共同編集を開始する。	・各グループの役割分担(原稿担当、スライド担当など)が適切になされているか確認する。 ・リサーチクエスチョンや本論の記述に矛盾や飛躍がないか、机間巡視で適宜アドバイスを行う。
10分	休み時間	
【2時限目】		
49分	⑥ 発表原稿とスライド作成(ワーク後半) ・前半に引き続き、原稿とスライドの同時作成およびブラッシュアップを進める。	・進捗が遅れているグループがないか確認し、記述の要約方法や図表の挿入について具体的な支援を行う。 ・内容の議論が停滞している場合は、教員が問いを投げかけて整理を促す。
1分	⑦ 次回の予告 ・次回までに発表原稿とスライドを完全に完成させるよう改めて念を押す。	・提出期限を厳守させるとともに、次回の発表練習へ向けた見通しを持たせて授業を締めくくる。